

ISHINOMAKI

ポタト通信

2024

9



加工用ばれいしょの

収穫作業

加工用ばれいしょ 収穫の現場から



加工用ばれいしょの収穫作業の様子

石巻地域では、7月20日頃から加工用ばれいしょの収穫が始まりました。

今作は、生育後半の雨の影響が少なく、生産法人の防除管理や追肥も適切に行われ、地上部の茎葉が最後まで青々としており、芋の肥大が進みました。

法人ごとに自社の収穫機械や(株)カルビーポテト等からのレンタル機械を使用しながら、収穫作業は順調に行われました。

桃生地区では、今作が初の取組となる法人や面積を拡大した法人がありましたが、共同選別機を利用できたことから、収穫作業に集中することができ、効率的に作業ができました。

収穫期間中は、降雨や配送の関係により、作業ができない日もありましたが、お盆明けには全法人が収穫作業を終えました。

11月に開催予定の実績検討会において、各法人や関係機関を交えて、収量や作期の前作対比を通した栽培の振り返りを行っていきます。

加工用ばれいしょの作期は、4か月程度と短期間ですが、その中でも課題や改善点が見つかっています。

来作は、今作以上の収量や品質となるように、今後も支援を継続してまいります！

Calbee Potato からのお知らせ

加工用ばれいしょ生産に取り組んでくださる方へ

R7年種いも 購入受付中!!

一次取りまとめ〆切は 9月末

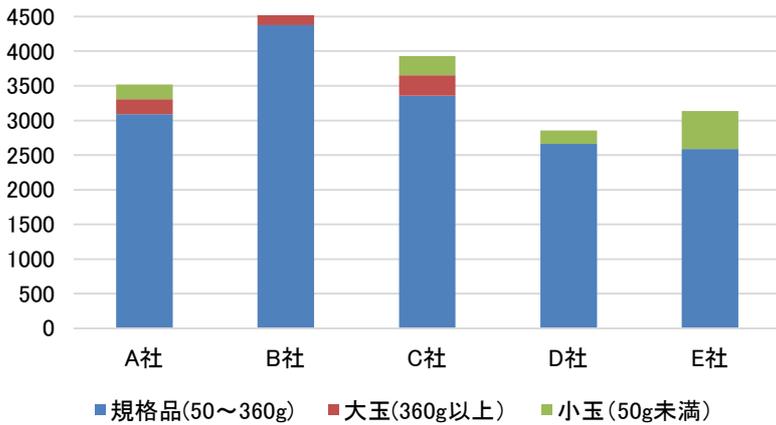
まずは、JAIのまき園芸課、石巻農業改良普及センターにお早めにご相談ください。

- ・ 植付け予定面積、農業機械の手配の有無について、お知らせください。
- ・ 後日、カルビーポテト(株)のフィールドマンによる面談で種いも供給の可否を判断いたします。

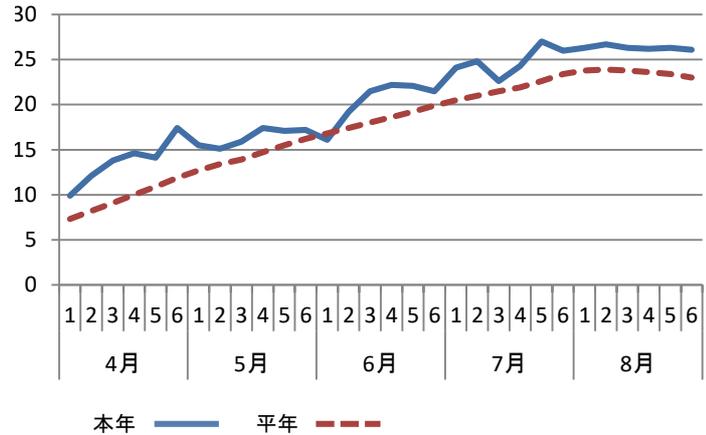
R6加工用ばれいしょ掘り取り調査結果

7月中旬に石巻農業改良普及センターが実施した掘り取り調査に基づく収量予測は、下記のとおりです。

10aあたり予測収量(kg)



平均気温〔半旬別〕(°C)



- 例年に比べて平均気温が高く推移し、収穫適期は予想よりも1~2週間前進
- 5月30日と6月15日に実施した草丈調査結果との関連では、草丈の伸長が10cm程度(B社)のものは高収量、20cm前後の伸長では3社中2社が目標収量3tに届かず(D、E社)
- 3法人で規格品予測収量が3tを超えたが、2法人は2.5t強にとどまった



有限会社サンダーファーム牛田 における取組事例の紹介

排水の良いほ場への作付けと防除暦による防除の徹底

有限会社サンダーファーム牛田は、桃生地区で水稻70ha、大豆60ha、加工用ばれいしょ3ha、ねぎ20aを耕す大規模土地利用型法人で、令和5年度から加工用ばれいしょに取り組んでいます。

排水の良いほ場でないと、加工用ばれいしょ栽培は難しいと教えられ、JAいしのまきから指導を受け、水持ちの良くない水田、いわゆる「ザル田」1.7haに作付けした結果、取組初年度から、3.8t/10aを超える高単収となり、「宮城県知事賞」を受賞しました。

2作目の令和6年度は、JAいしのまきが選別機を導入したことで、作付面積を3haに拡大しました。

令和6年度も、たびたび大雨に見舞われたものの、ばれいしょは順調に生育し、無事収穫することが出来ました。今年の収穫も上々のようです。

排水対策と適期作業、カルビーポテト(株)が配布している「防除暦」どおりの防除の徹底が高収量を得るポイントのようです。



令和6年産さつまいもの 生育状況を議論

現地検討会開催

さつまいもの試し掘り

令和6年8月26日に石巻市河南地区の農事組合法人エコルフーム（以下、エコルフーム）のほ場を会場に、石巻管内でさつまいもを生産している農業法人や個人生産者と市及びJAいしのまき、普及センターなど20名が参加し、現地検討会を開催しました。

普及センターから、さつまいも栽培に適する土壌条件や肥料の影響、効果的な除草等の情報提供を、エコルフームの後藤代表からは、耕種概要や栽培上の工夫点などを説明したのち、生育状況の検討や情報交換を行いました。

検討会では、試し掘りも行なわれ、最大で200g程度の大きさに肥大しているものもあったことから、高収量が期待されます。

今後も、関係機関と連携して、さつまいもの生産振興に向けて取り組んでいきます。



さつまいもの現地検討会の様子

参加者の声のご紹介



ほかの生産者の取組を見ることは勉強になりました。

お互いに情報交換ができるのが良かったです。



参加者の方のほ場の状況も知りたい！！

